

環境影響評価集計表(平成24年度)

環境影響に関する「地域と連携した活動」・「環境教育や環境研究成果の普及啓発」・「環境改善のための活動」一覧

No.	ユニット名	活動団体や学会・講演会の名称・活動の名称など	氏名	活動の概要(60字程度)
1	人文学部	松本市松原町会環境衛生部	渡邊秀夫	町内、公園敷地、道路等の環境美化作業に従事(年4回)
2	経済学部	キャンプインストラクター講習会(長野県キャンプ協会)	古屋顯一	キャンプや自然活動に必要な基本的な知識・技術・マナーなどについて講習する。
3		都市デザイン学習会(中央公民館連続講座)	武者忠彦	月1回の講座のなかで、低炭素型まちづくりについて市民に講演を行った。
4	理学部	長野県環境影響評価委員	佐藤利幸	年間4回の会議出席
5		松本市(奈川トンネル)環境評価委員	佐藤利幸	年2回会議・現地調査
6		ホテルと環境の学習会にて講演、及び保護管理のあり方について解説、観察会を開催した:松本市庄内ほとりと水辺の会、女鳥羽川のホテルを守る会、梓川公民館活動、講演会等	藤山静雄	自然豊かなホテル水路の維持管理の仕方、およびホテルもすすめる水路環境のあり方について、すなわち豊かな生態系を維持した水路環境の重要性について講演した。
7		諏訪湖浄化講演会	朴虎東	諏訪湖のヒシの繁茂の問題や湖底の貧酸素の問題、諏訪湖の水質改善策に関する講演を行った。
8		日本土壌肥料学会つくば大会	墨 泰孝、國頭 恭、石川祐一、朴 虎東、佐藤 強、長岡一成、相川良雄	重金属汚染土壌における大麦根圏の重金属形態と微生物群集の生理的性質に関する研究成果を発表した。
9		日本土壌肥料学会つくば大会	王 京、國頭 恭、佐藤 強、朴 虎東	重金属汚染が土壌微生物の機能に与える影響や、どのような微生物特性が重金属の影響を受けやすいのかについて研究した成果を発表した。

10	理学部	日本土壌肥料学会関東支部大会千葉大会	墨 泰孝、國頭 恭、石川祐一、朴 虎東、佐藤 強、長岡一成、相川良雄	重金属の溶解度を低下させるために汚染土壌にアルカリ資材を添加し、重金属形態と微生物群集の生理的性質がどのように変化したかについて調査した結果を報告した。
11		市民組織 中信環境教育ネットワーク	—	幹事として参加。この団体は、児童・生徒に、環境保全につながる技術や行動を知ってもらうことを目的として、登録している個人・企業が、学校の依頼を受け、学校で展示や実験を行うことをコーディネートするものです。市、教育委員会と協力関係にあります。
12	全学教育機構	『信大NOW』70号(7月)掲載記事「同じアジアで共に環境を考える」(11-12頁)への取材協力	金沢謙太郎	第3回環境教育海外研修の引率者として、参加者のマレーシア現地での活動を伝えています。今回の研修の一つの特徴は、「共に学び合う」「交流する」という関係性にあります。
13		講演「香の向こうに一熱帯雨林と日本人」、第43回フレッシュキャンパスセミナー、7月22日[単独]	金沢謙太郎	香文化の歴史を概観しながら、沈香木に関する現地調査の結果などを報告しました。
14		『信州大学環境報告書2011』(9月)掲載記事「環境研究」(31頁)への取材協力	金沢謙太郎	「サゴヤシ」や「沈香」などの熱帯雨林の生態資源の利用について、インタビューに答える形で報告しています。
15		講演「熱帯雨林と香:沈香はどこから来てどこへ行くのか」(京都大学東南アジア研究所・共同利用研究会「熱帯環境からみた商品連鎖の時空間的分析」、2月5日、京都大学)[単独]	金沢謙太郎	講演のなかで、熱帯雨林と香文化の保全を考える上で、沈香のバリューチェーンの見直しが鍵を握ると言及しました。
16		日本環境協会	小林充	ISO14024タイプ I 環境ラベル(エコマーク)の認定審査(委員長代理)
17		日本環境協会	小林充	ISO14024タイプ I 環境ラベル(エコマーク)の基準制定(委員)
18		産業環境管理協会	小林充	ISO14025タイプ III 環境ラベル(エコリーフ)の評価レビュー、事業所システム審査の認定審査および製品分類別基準の審査(代表委員)
19		医学部	松本市「地球温暖化防止シンポジウム～松本市地球温暖化対策実行計画の推進に向けて～」(2012. 2. 5)	野見山哲生
20	松本市環境審議会		野見山哲生	松本市の環境保全等に関する調査及び審議をするため、委員として審議会に参加した。

21	医学部	木曽町環境協議会、環境教育部会	塚原照臣	木曽町における環境対策への取り組みにおいて、環境教育に関する部会に部会委員として活動に参加した。
22	内部部局	環境教育海外研修	環境マインド推進センター	国外の環境活動について学ぶことを通じて、環境に対する取組に対して多様な視点で捉え、考え、実践することができる人材を育成し、本大学の環境活動の推進に資するために環境教育海外研修を実施しています。
23		環境教育海外研修報告会	環境マインド推進センター	上述の研修の学生による報告会
24		環境配慮契約法に則った学用車の調達	財務部経理調達課	学用車更新の際、環境配慮契約法に則り、購入価格及び環境性能を総合的に評価し、その結果もっとも優れた提案【車種】をした者と契約を締結している。(2011年度購入実績 5台) なお、2012年度(今年度)も上記と同様の学用車調達を4台計画している。
25		「2011環境図書展」	中央図書館	太陽光発電・風力発電など自然エネルギーをテーマに、関連図書の展示、理学部化学科樋上研究室の「蓄電できる太陽電池」の実験装置の展示、松本キャンパス環境ISO学委員会によるポスターの展示、中央図書館屋上太陽光パネルの写真紹介や見学会などを実施した。
26		松本市ノーマーカーデー推進市民協議会	代表者:山沢清人 担当:総務課	同会議の所属団体として、総会、キャンドルナイト、松本モビリティウィーク&カーフリーデー、ノーマイカーデー街頭キャンペーンへの参加
27	生協	2/23上田食育推進会議での報告	熊崎達也(専務理事)	食育推進会議の中で、大学生の食事情や大学生協の取り組みについて報告を行いました。